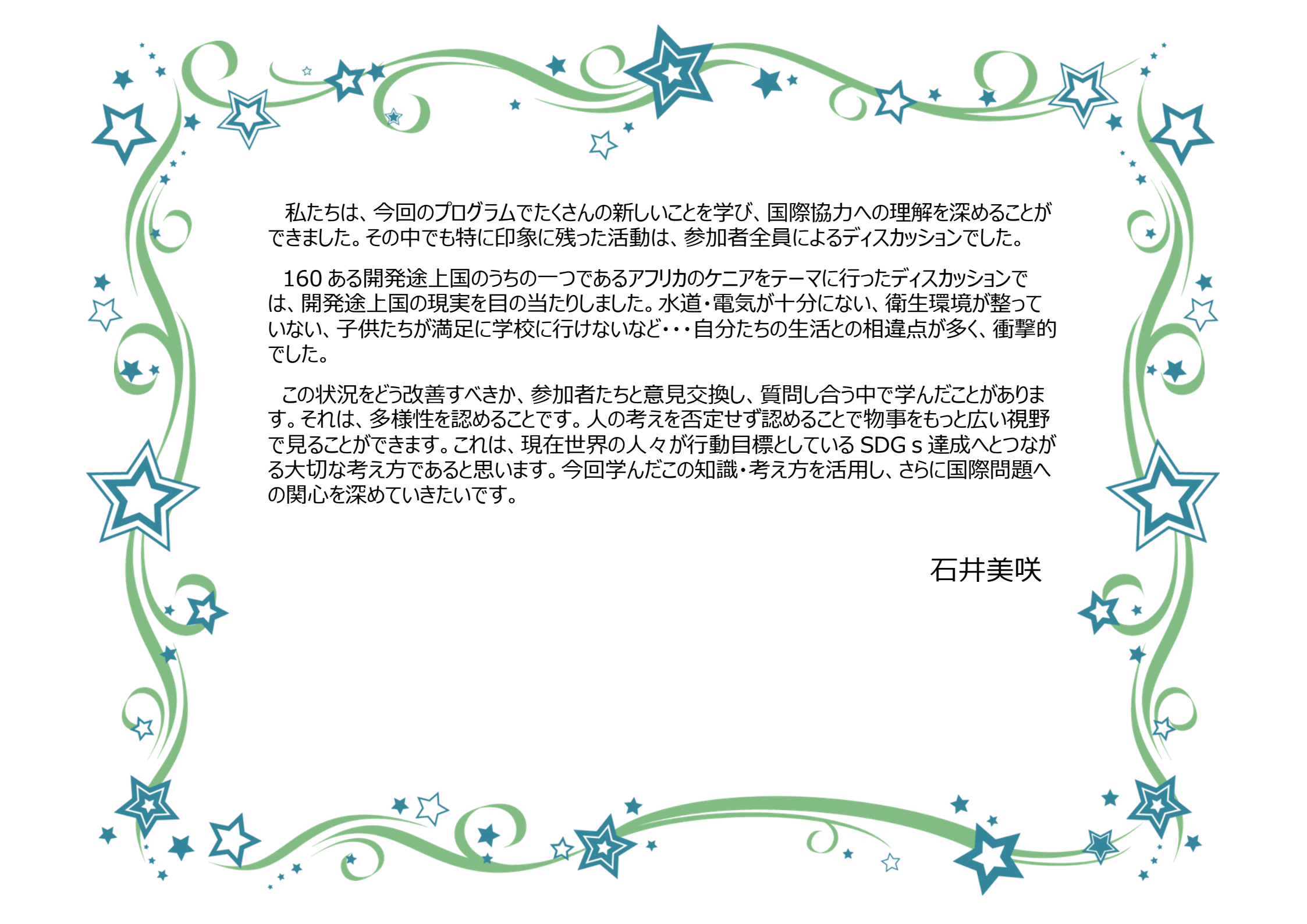




私たちは、今回のプログラムでたくさんの新しいことを学び、国際協力への理解を深めることができました。その中でも特に印象に残った活動は、参加者全員によるディスカッションでした。

160 ある開発途上国のうちの一つであるアフリカのケニアをテーマに行ったディスカッションでは、開発途上国の現実を目の当たりにしました。水道・電気が十分でない、衛生環境が整っていない、子供たちが満足に学校に行けないなど・・・自分たちの生活との相違点が多く、衝撃的でした。

この状況をどう改善すべきか、参加者たちと意見交換し、質問し合う中で学んだことがあります。それは、多様性を認めることです。人の考えを否定せず認めることで物事をもっと広い視野で見ることができます。これは、現在世界の人々が行動目標としているSDGs達成へとつながる大切な考え方だと思います。今回学んだこの知識・考え方を活用し、さらに国際問題への関心を深めていきたいです。

石井美咲